

県政映画上映会

～秋田昭和の時代 映像アーカイブ～

平成28年11月3日(木) 秋田県公文書館 3階 多目的ホール

本日のプログラム 【1回目上映 11:00～正午 2回目上映 14:00～15:00】

◆ ごあいさつ

◆ 前半

① 昭和31年10月 「県政だよりNo.3」

- 第1回文化功労者の表彰(※)
- 建設有望な生橋・鷹角線(※)
- トピックス…みなさんの県民室をどうぞ
 - ・部落そろってバドミントン(旧大森町)
 - ・種苗交換会開く(旧鷹巣町)(※)
 - ・県鎧畑発電所の竣工
- 県政だより…冬近い開拓地



② 昭和33年7月 「県政ニュースNo.13」

- 海の幸(男鹿市台島)
- 盛んになる木工業(五城目町、能代市)(※)
- 山奥で学ぶ(旧十和田町)
- 本観測ロケット飛ぶ(旧岩城町道川)(※)



◆ 後半

③ 昭和33年11月 「県政ニュースNo.17」

- 第13回国体開く(富山県)
- 文化の日に讃える
- ぼくらの温泉プール(旧本荘市)(※)
- 海底油田掘さく進む(旧由利郡道川沖)



④ 昭和36年3月 「県政ニュースNo.32」

- 新しい土地を求めて～南米移住者出発～
- 春のいぶき(旧神岡町・旧和田町・白竜号)(※)
- 雪の祭典開く(旧矢島町、旧花輪町)
- 県民の窓…六郷町の竹打ち(旧六郷町)



⑤ 昭和36年12月 「県政ニュースNo.38」

- 文化の殿堂完成(県民会館・県立秋田図書館)
- 農民祭開く(第84回種苗交換会)
- 県民の窓…木地山こけし(旧皆瀬村)(※)



(※) 印の映像についてはナレーションを掲載しています。)

～はじめに～

かつて「県政映画」は、「県政だより」「県政ニュース」などの名前で、県内各地の映画館で幕あいに上映され、その時々の県政に関するニュースや各地域の話題などを提供していました。

秋田県公文書館では、これら県政映画を保存し閲覧室で公開していますが、スクリーンに映して大勢でご鑑賞いただく上映会も開催しています。

今回は、文化の日やスポーツに関する昭和30年代のニュース映像をはじめ、県政各分野の施策や、ふるさとの四季を紹介する5本の作品を上映します。どれも当時を偲ばせる貴重な映像ばかりです。懐かしい昭和の秋田をぜひご覧ください。



～ナレーション採録～ ナレーションの一部を採録しました。

① 昭和31年10月 「県政だよりNo.3」

【第1回文化功労者の表彰】



県では新たに文化功労章を制定、その授与式を菊薫る文化の日に行いましたが、受賞に輝く人々は、訳万葉（やくまんよう）を成し遂げた村木清一郎氏、米多収穫に努力した丹民蔵氏、私学の振興に尽くした園部ピア氏、体操界を育てた太田口政治氏、美術運動を押し進めた佐々木素雲（そうん）氏、高山植物園を作り上げた千葉忠一郎氏で、知事はこれらの人々に文化功労章を贈り、県文化の発展に尽くした功績を讃えました。

【建設有望な生橋・鷹角線】



本年2月の鉄道建設審議会で本県の生橋及び鷹角の2線が調査線に選ばれました。生橋線は本県の生保内と岩手県の雫石間24キロを結び、また鷹角線は鷹巣・角館間を結ぶため、阿仁合から角館までの延長64キロへ新たに鉄道を通そうというものです。この地域は以前着工半ばで中止になっていますので、現在路盤や橋脚、トンネルが風雨にさらされています。国鉄ではこの夏から両線の測量や経済調査を行っていますが、この2つの線が開通しますと沿線に豊富な森林、地下資源などの開発ができますので、県では関係者と共にその実現に努力しています。

【種苗交換会開く(旧鷹巣町)】



80年の伝統を誇る種苗交換会は、11月10日から鷹巣町で華々しく開かれましたが、今年も豊作とあって連日農家の人々が押し寄せました。出品された農家の汗の結晶はざっと3、800点。出品物に見入る農家の人々の真剣なまなざしは、早くも来年の増産を頭に描いているようです。会期中各会場では、体験発表や藁（わら）工品競技会などいろいろな催しが行われ、たくさんの人足を引きつけました。かくて1週間にわたる農民の祭典は、農家の実りの喜びと来年の豊作への期待のうちに幕を閉じました。

○盛んになる木工業(旧五城目町、能代市)



本県は全国でも優れた木材の生産県として知られていますが、大部分は製材製品として県外に送り出されています。このような資源に恵まれながら県内の木工家具店に陳列されている製品の多くは、県外の品物というありさま。そこで県では、遅れている本県の木材工業を盛んにするため、原材料の加工、製品化に力をそそいでいます。すでに県内には力の弱い業者たちが協同の力で立ち上がろうと活発な動きをみせています。県では、これらの生産グループに対して製品を担保に資金の斡旋を行っています。さらに新しい機械の貸付や生産地の業者に対して技術講習会を開くなど生産の向上に力を入れています。また県内でできるものの中には優れた技術と伝統を持っている製品も少なくありません。これら製品の販売の道を開くため商品の見本展や批判会も行っています。こうして豊富な資材を持っている本県の木材工業は、今後の発展に大きな期待が寄せられています。

【本観測ロケット飛ぶ(旧岩城町道川)】



国際地球観測年のロケット観測班は、6月30日由利郡岩城町道川海岸で、本観測用2段式カップー6TW型2号機による本観測を行いました。このカップー6型ロケットは日本が観測年用に作った国産ロケットの最高のものです。

本観測を前に実験場には東京大学茅(かや)学長も顔を見せ、観測班を激励しました。成功を念じながら最後の打ち合わせをする糸川、高木の両教授。

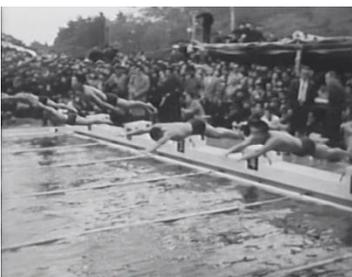
こうして、上層大気中の気温と風を観測しようというロケットの発射準備は慎重を重ね、いよいよ本番を迎えました。全長7.5メートルの発射台は本観測用として独特に作られたもので、この上に5.4メートルのロケットが完全に取り付けられました。発射角度75度。発射の寸前実験場付近は緊張に包まれます。観測各班の準備オーケー。

「…6、5、4、3、2、1、ゼロ」

これは超高速カメラが捉えた発射の様相です。我が国科学陣の死命をかけた一瞬は大きな成果を収め、ここに終わったのであります。

③ 昭和33年11月 「県政ニュース No.17」

【ぼくらの温泉プール(旧本荘市)】



初霜のおりる10月も末、本荘市で温泉プール開きが行われました。良い子はもちろん、市民のみんなでも楽しく泳ぎましょと、このほどできあがった25メートルのスマートな温泉プールは東北で3番目のもの。この日は水泳界のホープ山中・大崎両選手も顔をみせ会場は大喜び。まず県内招待選手があたたかいしぶきをあげます。山中選手の4人がけ自由型。両選手がプールいっぱいみせる美しいフォーム。32度の温水を泳ぎ廻って心地よさそうな山中選手とごきげんの市長さん。木枯らしもどこ吹く風と上気した顔がポカポカと浮いている、楽しい温泉プール開きでした。

【春のいぶき(旧神岡町、旧和田町、白竜号)】



外はまだ一面真っ白な雪にうずもれているというのに、県種畜場ではいま春ビナがかわいい産声をあげています。あたたかいふ卵器に並んで卵から次々に現れる春ビナ。ヒナはよく鑑別されて春を待つ県内の農村へ送られていきます。

こちらは河辺郡和田町。ここでは新しい村づくりの一つとして昨年からの野菜の温室栽培をはじめました。摂氏20℃のあたたかい温室ではきゅうりやしゅんぎくが美事な生育ぶりをみせています。ビニール越しにさしこむやわらかい陽ざしの中で水をやるおばさんも明るい表情です。

一方、昨年秋田沖で5本の採油に成功した白龍号は、いま秋田港で機械の手入れやお化粧などに余念がありません。この4月から出動とあって作業も急いで進められています。こうして雪深い秋田にも、ようやく春の訪れが告げられているようです。

【県民の窓・木地山こけし(旧皆瀬村)】



十文字駅より7里、美しい桁倉(けたくら)沼のそばに、可愛いこけし人形作りで知られる小椋久太郎さんの家があります。木地山こけしは今から130年前、初代の小椋徳右衛門さんが近江の国から移り継いだものとされ、久太郎さんはその4代目。単なるイタヤの木も小椋さんの手にかかると見事な造形美を象っています。

奥羽地方の元祖といわれるこのこけしは通称前垂れこけしともいわれ、品格のある表情、ふっくらとした胸が特徴で、素朴な親しみを持っています。このように素朴で美しい人形は、いつまでも人々の心を慰めるとともに、今後も小椋さんの手によって古い伝統を忠実に守り続けていくことでしょう。

～ご来場ありがとうございました。～

★どなたでも「県政映画」をビデオルームで閲覧できます。詳しくは公文書館カウンターまで！

「石油王国秋田」の歩みを振り返って見ませんか？

平成28年度企画展 公文書で見る秋田の石油開発 ～「石油王国秋田」誕生ものがたり～
2階特別展示室で好評開催中です！ どうぞ気軽にお立ち寄りください。

■秋田県公文書館■

〒010-0952 秋田市山王新町14-31
TEL 018-866-8301 FAX 018-866-8303
URL <http://www.pref.akita.lg.jp/kobunsho/>

